

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月3日 (2008.4.3)

【公表番号】特表2007-523093(P2007-523093A)

【公表日】平成19年8月16日 (2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-553373(P2006-553373)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 47/28 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 47/28

A 6 1 K 47/26

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月13日 (2008.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物において、全身性の抗原非特異的免疫応答を誘発するための治療組成物であって、以下の：

a. リポソーム・デリバリー・ビヒクル；及び

b. 以下の：

i. CpGモチーフを含まないオリゴヌクレオチド；及び

ii. 遺伝子インサート又はその断片を有さない単離核酸ベクター

からなる群から選ばれる単離核酸分子

を含み、ここで、当該治療組成物が、当該哺乳動物に全身性の抗原非特異的免疫応答を

誘発する、前記治療組成物。

【請求項 2】

前記リポソーム・デリバリー・ビヒクルが、多重膜小胞脂質及び押し出し脂質からなる群から選ばれる脂質を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記リポソーム・デリバリー・ビヒクルが、多重膜小胞脂質を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記リポソーム・デリバリー・ビヒクルが、カチオン性リポソームを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記リポソーム・デリバリー・ビヒクルが、DOTMA 及びコレステロール；DOTAP 及びコレステロール；DOTIM 及びコレステロール；並びにDDAB 及びコレステロールからなる群から選ばれる脂質の対を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記リポソーム・デリバリー・ビヒクルが、DOTAP 及びコレステロールを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

医薬として許容される賦形剤をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記賦形剤が、非イオン性希釈剤を含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記賦形剤が、5 % ブドウ糖液である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記組成物が、約 1 : 1 ~ 約 1 : 64 の核酸対脂質比を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記オリゴヌクレオチドが、少なくとも 10 塩基対の長さである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記オリゴヌクレオチドが、10 ~ 100 塩基対の範囲の長さである、請求項 11 に記載の組成物。